

学校法人須賀学園
令和4年度事業報告書

1. 法人の概要

(1) 令和4年度において本学園が設置する学校、学部、学科およびその入学定員、学生・生徒数等は、次のとおりである。

学校名	学部・学科名	収容定員	入学定員	入学者	在学者数
宇都宮共和大学	シティライフ学部	240	60	67	297
	子ども生活学部	280	70	46	199
	大学計	520	130	113	496
宇都宮短期大学	音楽科	80	40	16	43
	人間福祉学科	100	50	26	53
	食物栄養学科	60	30	35	74
	短期大学計	240	120	77	170
宇都宮短期大学 附属高等学校	全日制課程	2850	950	889	2482
宇都宮短期大学 附属中学校		240	80	58	161

(2) 令和4年度における本学園の役員（理事・監事）、評議員、顧問は、次のとおりである。

[理事]

1号 (学長・校長)	須賀英之
2号 (評議員会選任)	麻生利正 片柳伸一 稲 寿
3号 (学識経験者)	直井文子 松浦一雄 萩原俊和 中川裕雅

[監事]

川上哲郎 星野隆一

※ 寄附行為第5条第2項の規定により理事長に須賀英之を選任

※ 寄附行為第13条の規定により理事長の職務の代理又は代行の理事に中川裕雅を指名

[評議員]

1 号 (理事長)	須賀英之	4 号 (有識者)	麻生利正 中川陽一郎 松浦一雄 須賀房江 片柳伸一 稲 寿 齊藤浩二 倉持太郎 横堀太郎 中川裕雅
2 号 (法人職員)	直井文子 河田 隆 萩原俊和		
3 号 (卒業生)	渡辺克久 根本英孝 平出正光 栗原健人		

(3) 令和4年度における本学園の教職員の概要は、次のとおりである。

学校名	学長 校長	教授 教諭	准教授 助教諭	専任 講師	非常勤 講師	助手	事務職員
宇都宮共和大学	(1)	19	6	6	40	—	9
宇都宮短期大学	(1)	11	6	5	60	3	10
宇都宮短期大学 附属高等学校	1	75	2	9	89	—	10
宇都宮短期大学 附属中学校	(1)	6	—	1	6	—	—
計	1	111	14	21	195	3	29

備考 () は兼務である。

2. 事業の概要

令和4年度における本学園の事業の概要および進捗状況は、次のとおりである。

- (1) 宇都宮共和大学においては、令和5年3月17日に本学長坂キャンパスにおいて宇都宮短期大学と合同の卒業式が行われ、シティライフ学部第21期生66名、子ども生活学部第9期生46名が卒業した。就職内定率(就職希望者中内定者)はシティライフ学部、子ども生活学部ともに100%であった。

宇都宮共和大学の令和5年度の入学者は、シティライフ学部58名、子ども生活学部55名である。

- (2) 宇都宮短期大学においては、令和5年3月17日に音楽科第55回、人間福祉学科第21回および食物栄養学科第3回の卒業式が宇都宮共和大学と合同で行われ、音楽科26名、人間福祉学科26名、食物栄養学科37名、合計89名が卒業した。就職内定率（就職希望者中内定者）は各科ともに100%である。令和5年度の入学者は、音楽科14名、人間福祉学科21名、食物栄養学科が32名である。
- (3) 宇都宮短期大学附属高校においては、3月2日に卒業式が行われ、771名が卒業した。就職内定率は100%であった。大学等への進学は、一橋大学、宇都宮大学をはじめ国公立大学、早稲田大学、慶応大学、上智大学等の難関大学や医学部に多数合格者を出している。令和5年度の高校の新入学者は862名である。
- (4) 宇都宮短期大学附属中学校においては、3月16日に卒業式が行われ、52名が卒業した。令和5年度の中学校の入学者は47名である。
- (5) 令和2年度から、国においては、私立高校授業料無償化（世帯年収590万円対象）の施策が実施され、また、栃木県においても私立高校の入学金の助成が行われている。本校においては、高校、中学とも学校納入金については長年にわたり据え置くとともに、学力特待生（高・中）および運動特待生（高校）の奨学金制度を整備し、さらに家庭の経済状況による授業料減免（高校）を実施している。
- (6) 新型コロナウイルス流行の長期化・変異株の出現と厳しい環境が続いたが、感染防止に最大限の注意を払い、大学・短大・高校・中学とも昨年度に引き続き対面での平常授業を常時実施した。
高校・中学では、保健室のPCR検査機を活用するとともに、倉持病院・宇都宮記念病院・専門の検査センターと提携して宿泊行事ごとに大人数でのPCR検査を行い、抗原検査も3千キット以上を使い、安心・安全に努めてきた。学校で発熱した場合には、医療機関に搬送するまで陰圧室で休み、生徒が集まる場所には無害の紫外線照射装置を設置し、音楽室などには除菌機能付き空気清浄機やCO2濃度感知器などを備えた。
こうした対策により、学力強化合宿、修学旅行、学校祭、合唱コンクール、海外研修旅行など年間行事を予定通り開催できた。
- (7) 高校の海外研修旅行は、過去3年間中止としていたが、令和4年度は、3年ぶりに実施することができ、普通科・生活教養科・音楽科がフランス・オーストリアに、調理科がフランスに行き、無事帰国した。また、高校2年生の沖縄修学旅行、調理科・生活教養科の京都研修旅行も昨年引き続き実施した。本年3月には、中学2年生の修学旅行も実施した。
- (8) 新校舎の建築については、相見積りによる取引業者の選定を行い、インフラ工事は（株）関電工と藤井産業（株）に、新1号館建築工事は（株）竹中工務店に発注した。夏休みに既存インフラ盛替え工事を実施し、9月末に地鎮祭を行い、10月から新1号館建築工事に着工した。工事は予

定通り進行しており、新1号館は本年12月に竣工し、来年の高校入学試験は新校舎も使用して実施する計画である。

3. 財務の概要（カッコ内は前年度実績）

財務の概要は、次の表の（1）、（2）、（3）のとおりである。法人の教育研究活動に関連するすべての活動の収入、支出を示す（1）の資金収支計算書による法人全体の決算額は、160億1,400万円（152億5,300万円）になった。※（ ）内は令和3年度である。（以下同じ。）

法人の財務の運営状況を示す（2）の事業活動収支計算書では、基本金組入前当年度収支差額4億5,900万円（4億3,700万円）から基本金組入額2億6,000万円（3億4,200万円）を控除し、基本金取崩額3,600万円（0円）を加算した結果、2億3,500万円の収入超過（9,500万円の収入超過）となった。

令和5年3月31日現在における法人の財産状況を示す（3）の貸借対照表では、資産総額が499億5,400万円（495億1,400万円）となり、負債総額7億3,100万円（7億5,100万円）を差し引いた純資産は492億2,220万円（487億6,300万円）となった。

(1) 資金収支計算書

収入の部

(単位：百万円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
学生生徒等納付金収入	2,225	2,198	27
手数料収入	70	72	△ 2
寄附金収入	41	48	△ 7
補助金収入	778	749	29
資産売却収入	1	401	△ 400
付随事業・収益事業収入	20	24	△ 4
受取利息・配当金収入	21	23	△ 2
雑収入	86	63	23
前受金収入	365	401	△ 36
その他の収入	2,491	1,449	1,042
資金収入調整勘定	△ 444	△ 492	48
前年度繰越支払資金	10,356	10,317	39
収入の部合計	16,014	15,253	757

支出の部

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
人件費支出	1,467	1,488	△ 21
教育研究経費支出	571	524	47
管理経費支出	205	179	26
施設関係支出	1,248	39	1,209
設備関係支出	67	180	△ 113
資産運用支出	4,216	1,117	3,099
その他の支出	1,386	1,462	△ 76
資金支出調整勘定	△ 110	△ 92	△ 18
翌年度繰越支払資金	6,961	10,356	△ 3,395
支出の部合計	16,014	15,253	761

(2) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

		科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,225	2,198	27
		手数料	70	72	△ 2
		寄附金	41	48	△ 7
		経常費等補助金	772	712	60
		国庫補助金	69	49	20
		地方公共団体補助金	703	663	40
		付随事業収入	20	24	△ 4
		雑収入	95	64	31
		教育活動収入計	3,226	3,118	108
	事業活動支出の部	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
人件費		1,477	1,521	△ 44	
教育研究経費		1,084	1,032	52	
管理経費		210	198	12	
教育活動支出計		2,772	2,751	21	
教育活動収支差額		454	367	87	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
		受取利息・配当金	21	24	△ 3
		その他の受取利息・配当金	21	24	△ 3
	教育活動外収入計	21	24	△ 3	
教育活動外収支差額		21	24	△ 3	
経常収支差額		475	391	84	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
		資産売却差額	1	1	0
		その他の特別収入	7	48	△ 41
	特別収入計	7	49	△ 41	
	事業活動支出の部	科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
		資産処分差額	22	3	0
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	22	3	0		
特別収支差額		△ 15	46	△ 61	
〔予 備 費〕				0	
基本金組入前当年度収支差額		459	437	23	
基本金組入額合計		△ 260	△ 342	82	
当年度収支差額		199	95	105	
前年度繰越収支差額		11,976	11,881	95	
基本金取崩額		36	0	36	
翌年度繰越収支差額		12,212	11,976	236	
(参考)					
事業活動収入計		3,255	3,191	64	
事業活動支出計		2,795	2,754	41	

(3) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	42,934	39,049	3,885
有形固定資産	20,056	19,269	787
特定資産	7,000	8,000	△ 1,000
その他の固定資産	15,877	11,780	4,097
流動資産	7,020	10,464	△ 3,444
現金預金	6,961	10,356	△ 3,395
未収入金	43	89	△ 46
前払金	8	18	△ 10
立替金	1	0	1
資産の部合計	49,954	49,514	441

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	245	246	△ 1
流動負債	486	504	△ 18
負債の部合計	731	751	△ 19

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	31,356	30,143	1,213
第2号基本金	5,496	6,485	△ 989
第4号基本金	158	158	0
翌年度繰越収支差額	12,212	11,976	236
純資産の部合計	49,222	48,763	460

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	49,954	49,514	441

(4) 財産目録

令和5年3月31日現在

学校法人 須賀学園

科 目		金 額	
一 資産額			
(一) 基本財産			
(1) 土 地	392,517㎡	8,060,498,361 円	
(2) 建 物	63,846㎡	9,302,622,473 円	
(3) 構 築 物	253点	582,254,750 円	
(4) 教育研究用機器備品	28,630点	413,961,278 円	
(5) 管理用機器備品	6,294点	29,453,290 円	
(6) 図 書	151,184冊	442,559,636 円	
(7) 車 輛	10台	4,809,289 円	
(8) 建設仮勘定		1,220,483,000 円	
			20,056,642,077 円
(二) 運用財産			
(1) 現金・預金		6,961,488,456 円	
(2) 積 立 金		7,000,000,000 円	
(3) 有 価 証 券		12,461,802,776 円	
(4) 長期預け金		10,014,360 円	
(5) 特定金銭信託		3,375,009,646 円	
(6) 電話加入権		721,652 円	
(7) 敷 金		449,188 円	
(8) 施設利用権		3,118,895 円	
(9) 温 泉 権		22,443,750 円	
(10) ソフトウェア		4,053,299 円	
(11) 貯 蔵 品		7,283,540 円	
(12) 未 収 入 金		43,342,790 円	
(13) 前 払 金		8,065,734 円	
(14) 立 替 金		145,000 円	
			29,897,939,086 円
資 産 合 計			49,954,581,163 円
二 負債額			
(一) 固定負債			
(1) 退職給与引当金		239,625,566 円	
(2) 長期未払金		5,898,200 円	
			245,523,766 円
(二) 流動負債			
(1) 未 払 金		97,638,831 円	
(2) 前 受 金		365,717,500 円	
(3) 預 り 金		22,766,422 円	
			486,122,753 円
負 債 合 計			731,646,519 円
正 味 財 産			49,222,934,644 円